

夏休みの計画のお話

じっとりとした梅雨らしい日が増えてきましたね。昨日(6/21)は夏至でした。このつぶやきシリーズを書き始めたのが去年の6/15なので、丸一年がたったこととなります。気温はこれから上がっていくでしょうが、昼間はもう短くなりはじめている、ということです。

そろそろ夏休みの計画を立て始めた人もいるでしょうか。もうとっくに予定は決まっている、という人もいるかもしれませんね。普段は行けない所に行ったり、普段はやれないことをやったりする良い機会です。行ってみたい場所や、やってみてほしいことがあれば、ぜひお家の人に相談してみてくださいね。

理科の先生としては、低学年のうちに海や山の生き物とふれあったり、夜空を見上げて星を観察したりして欲しいと思います。観察日記をつけておけば、あとから思い出して楽しむこともできますね。



あん Do が授業中にみなさんにお話しすることの中にも、子供のころにどこに行って何をしたか、何を見て何を考えたか、ということがもとになっているものがたくさんあります。一生思い出すことができるような出来事に出会えたら、それはとても素晴らしいことだと思います。

くらぶや探検隊の生徒さんたちには、生き物がこわい、という人もいるみたいですが、こわいと思いこんでいただけで、実はそんなことはなかった、なんてこともあるかもしれません。せっかくたくさん時間がある夏休みですから、何か新しいことにチャレンジしてみるのも面白いのではないのでしょうか。はじめはおっかなびっくりでもかまわないので、「まずやってみる」という精神は、何かを始める時には大事かもしれませんね。



23/6/22 (釣った魚をさばくのが怖かったこともある) あん Do